

2019年10月28日

各 位

会社名 日本調剤株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三津原 庸介
 (コード番号 3341 東証第1部)
 問合せ先 取締役財務部長 小城 和紀
 (TEL. 03-6810-0800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月26日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 129,872	百万円 2,862	百万円 2,789	百万円 1,444	円 銭 96.35
今回発表予想(B)	130,000	4,050	4,000	2,050	136.72
増減額(B-A)	128	1,188	1,211	606	
増減率(%)	0.1%	41.5%	43.4%	42.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	118,694	1,547	1,265	744	46.77

2. 修正の理由

2020年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、外部環境厳しい中、全ての事業セグメントで前年同期比増収増益、利益面につきましては期初計画をそれぞれ上回る見込となりました。全社を挙げて経費削減など収益性改善に向けた取り組みを前期以降継続しております成果が着実にできております。セグメント別では、主力事業である調剤薬局事業が売上高、利益ともに全体を牽引致しました。自力出店とM&A、門前薬局とハイブリッド型薬局など、出店形態、店舗タイプのバランスを重視した出店戦略、既存店の体制整備、質を重視した人材戦略などの基本戦略の成果に加え、抗がん剤等高額処方箋の増加やかかりつけ薬剤師・薬局への取り組みなどによる処方箋単価の上昇、人員増強などによる既存店を含めた処方箋枚数の増加などが主な要因です。医薬品製造販売事業では採算を重視した販売戦略などにより、医療従事者派遣・紹介事業では医師・薬剤師の紹介事業における先行投資効果などにより期初計画を上回る見込です。

以上の状況を踏まえ、2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を上記のとおり修正することと致しました。

また、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年10月の薬価改定が、特に医薬品製造販

売事業において大きな引き下げとなり、下期業績の押し下げ要因となる可能性があることなどを勘案致しまして据え置いております。今後の業績動向等を注視し、修正等が必要と判断される場合には、速やかに開示してまいります。

(注) 上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

以 上